



一般財団法人 地域創造  
Japan Foundation for  
Regional Art-Activities

# 平成30年度 公共ホール演劇ネットワーク事業 報告書

『桂九雀で田中啓文、  
こともあろうに内藤裕敬。  
笑酔亭梅寿謎解噺～立ち切れ線香の章』

一般財団法人地域創造

助成事業

一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会

## 事業概要

目次	1
はじめに	3
実施要綱	4
事業の流れ	6
事業予算	7
公演概要	8
ツアースケジュール	9

## 実施データ

富田林市	10
能代市	11
上田市	12
高知市	13
豊岡市	14
茅ヶ崎市	15
能勢町	16
地域交流プログラム	17
記録写真	18

ポスター	19
------	----



一般財団法人地域創造では、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的として、地方公共団体等との密接な連携のもと、全国の地方公共団体や関連の公益法人などが実施する文化・芸術活動に対して財政的な支援を行うほか、財団の自主事業として、研修交流事業、公立文化施設活性化推進、調査研究等などの事業に取り組んでいます。

これらの事業の一環として「公共ホール演劇ネットワーク事業」を実施しています。これは、各地域において、上質な演劇公演と、演劇の手法を活用した地域交流プログラム（学校へのアウトリーチ、一般向けのワークショップ等）を実施することにより、観客の創出・育成や子どもたちのコミュニケーション能力・想像力・創造力の向上をサポートする事業です。

平成30年度はすばるホール（大阪府富田林市）、能代市文化会館（秋田県能代市）、サントミュージゼ（長野県上田市）、高知市文化プラザかるぽーと（高知県高知市）、豊岡市民プラザ（兵庫県豊岡市）、茅ヶ崎市民文化会館（神奈川県茅ヶ崎市）、淨るりシアター（大阪府能勢町）の7地域で、『桂九雀で田中啓文、こともあろうに内藤裕敬。笑酔亭梅寿謎解嘶～立ち切れ線香の章』（原作：田中啓文、脚本・演出：内藤裕敬）の上演と、地域交流プログラムを実施しました。

この作品は、田中啓文さんの著書である人気ミステリー小説の一篇を舞台化した作品です。落語と演劇がうまく融合し、双方のファンにも十分楽しんでいただける作品となりました。

地域交流プログラムは、それぞれの地域で演出家内藤裕敬さんによる演劇ワークショップまたは落語家桂九雀さんによる落語ワークショップと2つの特色あるワークショップを実施しました。

この報告書は、「平成30年度公共ホール演劇ネットワーク事業」において実施した事業内容をまとめたものです。本事業の成果が活かされ、地域のホールが創造的な活動の場となり、ネットワークの形成が活発に行われるようになることを願っております。また、この報告書が地域の公立文化施設の職員や地方公共団体の芸術文化担当者の参考となり、微力ながら公共ホールの運営に役立てられれば幸いです。

結びに、貴重な財源を拠出していただきました一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会をはじめ、本事業の実施にあたりご協力を賜りました全ての関係者の方々に心から厚くお礼申し上げます。

平成31年3月  
一般財団法人地域創造

## 1 趣旨

一般財団法人地域創造（以下「地域創造」という。）は、公共ホールの活性化、情報発信能力の向上を図るとともに、地域の演劇分野における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりに寄与し、あわせて公共ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的として、複数の地方公共団体等が演劇公演を共同・連携して実施することを支援する。

## 2 対象団体

演劇事業の実施に関心があり、今後も演劇事業に積極的に取り組む意欲を持っている下記の団体を対象とする。

- ①地方公共団体
- ②地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定管理者として指定を受け、公の施設の管理を行う法人その他の団体
- ③地域における文化・芸術活動の振興に資することを目的として設立された公益財団法人等(②を除く。)のうち、地方公共団体が基本金その他これに準ずるものを出資している法人で地域創造が特に認めたもの

## 3 事業内容

当事業の各参加団体は、次の事業を実施する。

### (1) 演劇公演

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他公演を実施するにあたり適当な施設を会場とし、演劇公演（再演作品）を実施する。

なお、公演は原則として有料とし、入場料収入は、開催地の主催団体に各々帰属するものとする。

### (2) 地域交流プログラム

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他地域交流プログラムを実施するにあたり適当な施設を会場とし、地域交流プログラムを実施する（地域交流プログラムは、ワークショップやアウトリーチをはじめ、企画展やシンポジウム、セミナー等も含む。）なお、申請は採択後とする。

## 4 地域創造の支援措置

### (1) 公演事業等に対する助成

地域創造は、公演事業（ホール使用料、現地宣伝費、上演に係る著作権料、現地増員人件費などの現地経費は対象外とする。）及び地域交流プログラムにかかる費用の3分の2を助成する。

ただし、助成金は、1,200万円（原則、公演事業1,100万円、地域交流プログラム100万円）を上限とする。

## 5 参加団体決定手続

### (1) 代表団体選定手続

事業で実施する演劇公演についての企画作品及び代表団体を募集する。提出書類等での検討やヒアリングを行い、代表団体を選定する。

### (2) 参加団体選定手続

事業で実施する演劇公演についての参加団体を募集する。

代表団体は、連携して事業を実施する参加団体4つ以上と共同で応募するものとする。

### (3) 実施事業の決定

地域創造は、事業の実現性、予算額、事業実施時期等を検討して上演作品と参加団体を決定する。

## 6 事業実施体制の整備等

### (1) 実施体制の整備

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、代表となる団体（以下、代表団体という。）を1団体決定するとともに、事業に最も適した組織づくりを行う。

---

なお、4（1）の地域創造からの助成金は、原則として代表団体、参加団体で構成される実行委員会またはネットワーク事務局に対して交付する。

また、事業にかかる経費のうち、地域創造からの助成金を除いた部分の負担の配分については、参加団体（代表団体含む。以下、同じ。）間の協議事項となる。

(2) 地域交流プログラムの企画書の提出

代表団体は、参加団体間で協議のうえ、地域交流プログラムの企画内容を記載した企画書等を提出する。

(3) 合意書の締結

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、本事業実施のために必要な事項（(1)の実施体制に関するものも含む。）を定めた「合意書」を締結する。

(4) 代表団体の役割

代表団体は、(3)の合意書締結のとりまとめのほか、ネットワーク事業に必要な会議の開催や収支管理、事業報告及び決算報告を行うこと。

## 7 助成金の申請及び交付手続

(1) 助成申請

代表団体は、参加団体間の合意書の締結後すみやかに、助成金交付申請書を提出すること。

(2) 助成決定

地域創造は提出された助成金交付申請書を審査し、助成承認額を決定し申請者に対して通知する。

(3) 助成金前金払い

代表団体は、前金払いを請求しようとする場合は、助成金交付決定通知後、助成金前金払請求書を地域創造に提出すること。なお、前金払いの額は、助成金交付決定額の80%を限度とする。ただし、特に必要があると認められる場合は、全額を前金払いすることができる。

(4) 実績報告

代表団体は、事業完了後30日以内に実績報告書を提出すること。なお、実績報告書には、作成したポスター、チラシその他成果品、新聞・雑誌の掲載記事等を添付すること。

(5) 助成金の確定・交付

地域創造は、提出された実績報告書に基づき、その交付すべき助成金額を確定した上、通知するとともに助成金を交付する。なお、確定額は、助成承認額と事業実績額のうち地域創造の助成対象となる額とを比較し、いずれか低い方の額とする。

## 8 損害賠償の免責等

参加団体は不測の事態により事業を中止した場合等の損害の補填として損害保険等に加入すること。また、事業の実施に伴い発生した損害賠償等の責任について、地域創造は責めを負わないものとする。

## 9 公演クレジット

次のクレジットを基本とする。

主催：開催地の主催団体

公共ホール演劇ネットワーク事業参加団体：参加の地方公共団体

助成：一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会、  
(一財)地域創造、公共ホール演劇ネットワーク事業

## 10 その他

この要綱に定めるもののほか、事業実施に必要な事項（地域創造が交付する助成金の申請様式など）については、別途定める。

## 事業の流れ

時期／区分	フ ロ ー 図
平成29年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">代表団体及び上演作品募集 ・ 3月25日発行地域創造レター 4月号にて周知 募集締切（6月30日）</div>
7月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">代表団体名及び作品名を地域創造のホームページ上で公開。 参加を希望する団体は、各代表団体に直接、連絡する。 代表団体は、参加を希望する団体を取りまとめて地域創造へ申請。 申請締切（8月18日）</div>
8月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">上演作品及び事業参加団体の決定</div>
平成30年 2月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域交流プログラムの企画書等の提出</div>
4月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合意書の締結及び制作会議の開催（4月9日）</div>
8月～10月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">演劇公演及び地域交流プログラムの実施（前半）</div>
12月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">中間報告会議の開催（12月20日）</div>
平成31年 2月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">演劇公演及び地域交流プログラムの実施（後半）</div>
3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">決算報告会議の開催（3月13日）</div>
3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ネットワーク事務局から実績報告書提出・助成金の確定交付</div>
3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事業報告書作成・配布</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会へ実績報告書提出</div>

## 事業予算

費 目	金 額	摘 要
文芸費	2,457,000	脚本料／演出料／舞台監督料
出演料	2,268,000	出演料
舞台費	1,398,600	照明デザイン費／小道具・衣装費
公演費	1,798,512	交通費／宿泊費／日当／通信運搬費／手数料
制作費等	1,445,096	チラシ・ポスターデザイン費／ポスター印刷代／公演制作費／公演保険料／通信運搬費／租税公課／制作雑費／手数料
ネットワーク費	918,440	交通費／宿泊費／日当／通信運搬費／手数料
地域交流プログラム経費	772,085	謝礼金／交通費／宿泊費／日当／通信運搬費／手数料
合 計	11,057,733	
参加館負担金（合計）	3,685,898	
富田林	525,121	（1 ステージ）
能代	518,985	（1 ステージ）
上田	565,852	（1 ステージ）
高知	518,985	（1 ステージ）
豊岡	518,985	（1 ステージ）
茅ヶ崎	518,985	（1 ステージ）
能勢	518,985	（1 ステージ）
地域創造助成金	7,371,822	（対象経費の2 / 3、上限1200万円）
雑収入	13	利息



---

# 『桂九雀で田中啓文、こともあろうに内藤裕敬。笑酔亭梅寿謎解嘶～立ち切れ線香の章』 公演概要

---

## 【原作】

田中啓文（集英社文庫「笑酔亭梅寿謎解嘶」シリーズより）

## 【脚本・演出】

内藤裕敬（南河内万歳一座）

## 【出演】

桂九雀（上方落語家）

阪上洋光（劇団いちびり一家）

ことえ（空間悠々劇的）

岡野鏡（お囃子）

## 【スタッフ】

舞台監督／照明 皿袋誠路、小山陽美（茅ヶ崎公演のみ）

イラスト 長谷川義史

## 【協力】

南河内万歳一座

株式会社オン・ザ・ラン

## 【あらすじ】

とある落語家が男女の悲恋を描いた古典落語の大ネタ「立ち切れ線香」を弟子希望の男女に体験入門として施す。現代っ子ともいえる巨漢の男女に、落語世界を話しながら、気づくと、3人は田中啓文の小説「笑酔亭梅寿謎解嘶」のなかに……。

原作は、上方落語の大師匠・笑酔亭梅寿の元に弟子入りした不良少年・竜二が周辺で起こる怪事件の謎を解き明かしていくミステリー小説。古典落語をキーワードに繰り広げられる人気シリーズの一篇「たちきり線香」を舞台化して上演する。

## ツアースケジュール

日 程		会 場	内 容	スタッフ移動
4月	9日	月 地域創造	第1回制作会議	
8月	9日	木 能代市文化会館	地域交流プログラム（内藤裕敬）	能代着
	10日	金		能代発
9月	6日	木 犀の角（上田市）	地域交流プログラム（桂九雀）	上田着
	7日	金		上田発
	15日	土 すばるホール	地域交流プログラム（内藤裕敬）	富田林着／発
	21日	金 すばるホール	仕込み・舞台稽古	富田林着
	22日	土	公演14：00	富田林発
	28日	金		能代着
	29日	土 能代市文化会館	仕込み・舞台稽古	
	30日	日	公演14：00	能代発
10月	11日	木		上田着
	12日	金 サントミュージゼ	仕込み・舞台稽古・地域交流プログラム（桂九雀）	
	13日	土	公演14：00	上田発
	19日	金		高知着
	20日	土 高知市文化プラザかるぽーと	仕込み・地域交流プログラム（桂九雀）・舞台稽古	
	21日	日	公演14：00	高知発
12月	20日	木 地域創造	第2回制作会議（中間報告）	
2月	4日	月 能勢小学校	地域交流プログラム（桂九雀）	能勢着／発
	8日	金		豊岡着
	9日	土 豊岡市民プラザ	仕込み・地域交流プログラム（桂九雀）・舞台稽古	
	10日	日	公演13：30	豊岡発
	14日	木		茅ヶ崎着
	15日	金 茅ヶ崎市民文化会館	仕込み・舞台稽古・地域交流プログラム（内藤裕敬）	
	16日	土	公演14：00	茅ヶ崎発
	23日	土 浄るりシアター	仕込み・舞台稽古	能勢着
24日	日	公演14：00	能勢発	
3月	13日	水 地域創造	第3回制作会議（決算）	

## ■公益財団法人富田林市文化振興事業団



### ■すばるホール 小ホール

[所在地]：大阪府富田林市桜ヶ丘町2番8号

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

9月22日（土）・14：00・114人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

9月15日（土）・14：00～16：00・13人

（演劇実践者（アマチュア団体）へのワークショップ）

[入場料金]

一般 2,500円、高校生以下 1,000円（当日各500円増）

ペア券 4,500円（前売りのみ）

### ■この事業への参加理由

当館では自主制作ミュージカルや地元市民劇団、人形劇団との協働による演劇フェスティバルを開催。地元高校演劇連盟と高校演劇研究大会の地区大会を共同開催するなど、市民とつくる地域発の演劇事業に力を入れてきた。舞台上舞台形式やプラネタリウムでの演劇を実施。展示室など平土間のスペースに客席、音響、照明を組み、ニーズに合わせてあらゆるスペースを“小劇場化”するなど、地域における演劇の可能性を探る取り組みも行っているが、本事業において新たなネットワークを構築し、演劇制作のノウハウを向上させ、演劇事業の可能性をさらに広げることを目標に参加した。

### ■この事業全体を振り返って

地域交流プログラムでは学生・一般を交えた演劇実践者向けの演劇ワークショップを企画したが、高齢者が多く、学生の参加が少なかったため、講師 内藤氏の判断で急遽、演劇の本質を探るディスカッションへと変更し、年齢の偏りによる問題を回避していただけたことは、経験豊富な内藤氏であったから叶ったことだと思う。本番はネットワークの公演初日（初回）となったが、演劇、落語双方のアマチュア団体も鑑賞に参加。非常に好評で、良い状態でネットワークのスタートを切ることができた。

当館はこの助成事業に参加館としての経験を持たなかったため、代表館としてどのように制作していくのか、どのような事務作業が必要なのか等、事前の情報に乏しく、これらを補完するため、ネットワーク館の皆様から様々な情報提供と協力をいただくことで、なんとか乗り切ることが出来た。

代表館としてすべてのワークショップ及び本番に帯同したことは、様々なホールの実務を肌で感じることができ、大変貴重な経験となった。

### ■今後の事業展開

演劇事業のみならず、多数の分野で先進的活動を行っている全国のホールとネットワークを組み、共に一つの事業を制作できたことは非常に貴重な経験となった。今回の作品が落語と演劇の融合作品であったことから、演劇、落語、双方の分野でネットワークを活かしていきたい。

また「演劇をきっかけに落語に」「落語をきっかけに演劇に」興味を持っていただいた来場者も多く、これらの鑑賞者を大切に、鑑賞者層をより拡大するとともに、それぞれの担い手としての地域の実践者育成にも力を入れていきたい。

## ■ NPO 法人能代市芸術文化協会



### ■能代市文化会館 中ホール

[所在地]：秋田県能代市追分町4-26

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

9月30日（日）・14：00・110人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

8月9日（木）・14：00～16：00・11人

[入場料金]

一般 3,000円、高校生以下 1,000円

ペア券 5,000円（当日各500円増）

### ■この事業への参加理由

少子高齢化が進んでいる能代市では、同じ趣味をもつ者同士が集い、交流する場がとても少ない。とくに、演劇活動については、部活動として活動している学生数も減少し、社会人が主に活動している劇団も高齢化が進み、活動が収束気味になっている。これらのことから、もっと演劇活動を身近に感じ、仲間同士が交流できる場を提供するために、地域交流プログラムに取り組んだ。当会館ではこれまで上演の機会が少なかった演劇と落語のコラボ作品を市民に提供することで、演劇の手法の幅広さを体感してもらうことを考え、参加した。

また、この事業に参加することで他館との連携による事業実施の経験を増やし、そのノウハウを活かしていきたいと考えている。

### ■この事業全体を振り返って

ワークショップでは、演劇部の学生や能代市で活動する劇団の団員が集い、交流の場となった。高校演劇の審査員の経験も豊富な脚本家・演出家の内藤さんの指導は、学生たちに良い刺激となり、今後の演劇活動の活性化につながると確信した。能代市では、演劇活動をする市民が交流できるような環境が少ないことから、今回のワークショップはとても貴重な体験となり、今後も開催してほしいという参加者の声もあったことから、会館として参加の意義を見いだせた。

演劇関係の企画制作に関して実績経験が豊富な他館と制作会議を行うことによって、ノウハウを学ぶことができたこと、連携により経費負担を抑えることができたことはありがたかった。

ワークショップに参加した市民も公演鑑賞後に、学んだことと学ばなければならないことを再確認できたと喜ぶ学び多い事業であった。

### ■今後の事業展開

今回、当館として演劇ワークショップ事業の開催は初めてだったが、参加者からは是非続けてほしい、また参加したいという声が多数受けたことから、演劇活動をしている地元の人にとって、活性化につながり、交流の場となるような環境づくりを、当館で企画・実施していきたいと思っている。とくに、学生に当館を身近に感じてもらうため、学生同士が合同で練習できるようなワークショップなどを定期的に開催していきたいと考えている。

当館としては、今後も演劇活動を底支えする必要を充分感じていることから、各種助成を活用して鑑賞する機会と体験する機会を共に増やしていきたいと考えている。

## ■上田市



■サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター）大スタジオ  
[所在地]：長野県上田市天神3丁目15番15号

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

10月13日（土）・14：00・77人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

9月6日（木）・19：00～21：00・9人（一般公募ワークショップ）

10月12日（金）・18：30～20：30・5人（公演参加者ワークショップ）

[入場料金]

一般 2,500円、U-25 1,000円

### ■この事業への参加理由

- ・落語と演劇という異なる表現芸術をコラボレーションさせた本作品を通じて、新しいスタイルの舞台表現を提供すること。
- ・落語と演劇という異なる表現芸術それぞれの芸術の素晴らしさを再認識していただくこと。
- ・当市においてこれまであまり経験のない上方落語というジャンルの提供により、地域に新たな文化の種をまくこと。
- ・多館との連携事業の実施により、事業へのアプローチの多様性を感じることで、担当職員のスキルアップを図り、また今後の事業実施へその経験を波及させることを目指す。
- ・連携した館との職員間の関係性及び協力体制の構築・運営力の向上・課題解決力等のノウハウを醸成すること。

### ■この事業全体を振り返って

地域交流プログラムでは、当館で初の試みとなった落語ワークショップを、公募で2度実施し、当初若干の不安もあったが、定数の申し込みがあった。参加者からは大変好評を頂き、新たなアプローチの可能性を感じた。また、公演前日の落語ワークショップ参加者が公演に出演しリレー落語を披露するという試みもあったが、九雀師匠の指導の下、ワークショップ中にガンと噺が上達していき、本番ではお囃子や笛、銅鑼の効果もありとても素晴らしいリレー落語となった。

公演では、落語で演劇という一見両立し難い表現が、見事な相乗効果を生み、落語に興味があり観劇した観客、演劇は観劇しているが落語は初めてという観客双方からの評価も頂くことができた。

連携館との情報共有や公演までのスケジューリングなどでは、やや連携不足となった場面もあったが、これも含め今後の運営力向上に一助となるものであり、有意義な事業であったと感じている。

### ■今後の事業展開

今回の地域交流プログラム並びに公演を通じて、上方落語というジャンルに対して、リピートを求める意見も頂戴したところであり、今後の事業提供としての展開も検討していきたい。

また、当地域では新しいジャンルの紹介により、新たな利用者が開拓される機運がまだまだ存在することも感じたところであり、市民の反応や様子を見ていく中で、公演内容やワークショップの手法等を精査し、新たなジャンルの提供などに適宜取り組んでいきたい。

## ■公益財団法人高知市文化振興事業団



### ■高知市文化プラザかるぽーと 小ホール

[所在地]：高知県高知市九反田2-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

10月21日（日）・14：00・73人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

10月20日（土）・14：00～16：00・5人

（公募で募集した市民へのアウトリーチ）

[入場料金]

一般 3,000円、高校生以下 1,000円（当日各500円増）

### ■この事業への参加理由

当財団では、近年地域の表現者や劇団制作者と共に、表現力と制作力の底上げを目指し、中央の表現者を招いて合同での作品制作に取り組んできた。

演劇においては、全国で活躍するアーティストと地域の表現者との間につながりも生まれ、交流の場も広がってきている。この事業は、観客に対して落語と演劇の両面からアプローチできる演目であり、地域交流プログラムも様々なジャンルから選択可能だったため、これまでの「つながりを作る」「鑑賞者の育成」「職員のスキルアップ」といった項目を演劇以外のジャンルにおいても実現できるのではないかと思い参加した。

### ■この事業全体を振り返って

地域交流プログラムには、高知で演劇や落語に携わっている5名が参加した。観劇経験のない参加者もあり、参加者自身の表現に対して違うジャンルの表現方法からヒントを得る機会を作ることができ、今後の活動につなげることができた。当財団としては、演劇での市民参加の公演は過去に実施していたが、落語は公演そのものを開催しておらず、職員としては落語家・鑑賞者ともにつながりが希薄だった。今回の地域交流プログラムによって参加した市民に職員・出演者とのつながりが生まれ、ホールや事業に対する親しみが生まれるきっかけともなった。

公演については、演劇公演によく来場して下さる観客のほかに初めて見かける観客も多数おり、新たな来場者の開拓ができた。演劇の鑑賞者に対しては落語鑑賞のきっかけを、落語の鑑賞者に対しては演劇鑑賞のきっかけを提供することができ、関心を持つ芸術ジャンルの幅を広げるきっかけとなった。

### ■今後の事業展開

これまで演劇で連携事業や合同作品の制作事業などを行ってきたように、他の芸術ジャンルにおいても今回の事業で得たノウハウやネットワークを活用し、買い取り公演だけでなく公演の幅を広げていく必要性を感じた。今後も、市民がホールに親しみを持てるような参加型企画を実施し、ホールに足を運ぶきっかけ作りをしていきたい。また地域との交流や地元表現者とのつながりを強化し、観客として来場してもらうだけでなく積極的な事業参加を促し、日常的に芸術を感じられる環境を創出していくことが今後の目標である。

事業運営の方法や職員間の協力体制についても、参加館の皆さまから伺う話の中にはヒントを得ることも多かったので、参考にしながら今後の事業に取り組みたいと考えている。

## ■ NPO 法人コミュニティアートセンタープラッツ



### ■豊岡市民プラザ ほっとステージ

[所在地]：兵庫県豊岡市大手町4-5アイティ7階

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

2月10日（日）・13：30・100人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

2月9日（土）・14：00～16：00・6人（公募の小・中学生）

[入場料金]

一般 1,500円（当日200円増）、高校生以下無料

### ■この事業への参加理由

豊岡市民プラザでは、市民参加を軸とした事業制作に取り組んでいる。

そのジャンルは音楽・演劇・ダンス・伝統芸能、年齢も子どもからお年寄りまでと幅広く参加できる内容で設定しており、多くの市民が参加している。

特に演劇においては、当法人が劇団をプロデュースし、年に一度の本公演をはじめアトリエ公演の開催など積極的に活動している。

また、年2回地元アマチュア落語団体による寄席も開催しており、年配の方を中心に来場者数が増加している。しかし、観客層に若い世代が少なく偏っているため、今回この事業に参加することで「演劇」と「落語」のそれぞれの面白さとそれが融合する魅力を知ってもらい、新たなファン層を獲得したいと考えている。

### ■この事業全体を振り返って

地域交流プログラムは、小・中学生を対象に公募し、6歳から中学生までの6名が参加した。

参加者の多くは、地元のアマチュア落語団体に所属しており、「小噺」などの実践経験があり、初めての経験ではなかったが、プロの落語家の指導により短時間の中で大きな成果を得ていた。

本公演の客席では、当館主催の落語会に来場していただいている方だけでなく、いつもとは少し違うお客様も多かった。

第1部は、予想のつかない“演劇と落語の融合”がどのようなものか考えているうちに始まり、観ている間に引き込まれ、気づけばとても楽しんでいるお客様の様子がよくわかった。

第2部の冒頭、急遽決定した前日の地域交流プログラム参加の子どもたちの出演も好評で、参加者にも大変よい経験になったのではないかと感じた。

桂九雀氏の落語は情景が目につかび、本物の上方落語を聴く舞台であった。

### ■今後の事業展開

演劇と落語が融合したこの度の公演では、演劇、落語それぞれの支持層に新たな経験を得てもらう機会となった。

地域交流プログラムに参加の子どもたちは、プロの落語家の指導を受けたことで、今後落語を聴く時、また、実際に落語を披露する時に活かせる経験をした。

また、全国の複数の館の皆様とネットワークを組むことで低予算で実施できたこともよかった。

ここで築けたネットワークを今後も活かし、情報共有、課題共有を行い、当法人の舞台芸術の事業展開に反映していきたいと考えている。

## ■公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団



### ■茅ヶ崎市民文化会館 小ホール

[所在地]：茅ヶ崎市茅ヶ崎1-11-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

2月16日（土）・14：00・139人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

2月15日（金）・19：00～21：00・17人

（一般公募ワークショップ）

[入場料金]

一般 2,000円、高校生以下 1,000円

親子ペア（一般+高校生以下） 2,500円

### ■この事業への参加理由

当財団では子ども向けの演劇は定期的実施し毎回好評を得ているが、子ども向け以外の演劇公演の実施は比較的少ない。また、長年継続している演劇ワークショップではリピーターが多く定着していることを実感する一方新しい参加者の開拓も必要と思っている。そのため、地域であまり演劇に触れたことのない方にも、演劇の持つ力やおもしろさに触れてもらいたいと考えていた。普段とは異なる客層をターゲットとした演劇公演の実施と、内藤さんを講師とした演劇ワークショップを実施することで、新たな顧客・参加者の開拓に繋げつつ、制作スキルや宣伝方法等のノウハウを学びたいと思い参加した。

### ■この事業全体を振り返って

チラシ作成が大幅に遅れ宣伝も出遅れ、様々な手段を活用して計画的に宣伝することの重要性を痛感した。しかし、地域創造・連携館の方々から宣伝方法等のノウハウを学ぶことが出来たのは事業実施にあたり大きな収穫となった。

地域交流プログラムでは、内藤さんの演劇ワークショップを実施。募集は一般公募で行った。ダイレクトメールを送付した過去の演劇ワークショップ参加者からの申込みが予想以上に早く、すぐ定員に達し、演劇ワークショップへの強いニーズを感じた。一方で広報の順序や工夫で新たな参加者を開拓できるチャンスでもあったので、改めて事前計画の重要性を実感した。

公演では、演劇と落語の融合という新しい作品であったが、アンケートの中には落語が好きで観に来たというお客様も多く見受けられ、決まった枠に縛られずに多様な事業を実施することで新たな顧客を開拓できる可能性を感じた。

### ■今後の事業展開

宣伝では反省点が非常に多かった。基本的な事だが、いつ、どのような公演を、どんなお客様に向けて実施するかによって、広報スケジュールを立て、宣伝手段についても従来のものと新しいものを組み合わせて取り組んでいきたい。

今回の事業を通して「落語」というきっかけから「演劇」に興味を持ってもらえる可能性を感じたため、ジャンルや考え方に囚われない新しい公演も実施していきたい。ワークショップでは、演劇に興味のなかった方へのアプローチの幅を今まで以上に広げ、新たな参加者の開拓を試みていきたい。

日々業務に追われ気づかぬうちに視野が狭くなる中で新しいアイデアを生み出す事は容易ではないが、今回お世話になった連携館の方々とも今後も情報交換等の機会を設け、刺激を受けながら着実に取り組んでいきたい。そして、多くの方々が演劇等の芸術の魅力や身近さに触れ、茅ヶ崎市民文化会館に気軽に何度も遊びに行きたくなるよう、地域文化の拠点としてさらなる事業の活性化に努めていきたい。



## ■能勢町



### ■浄るりシアター ホール

[所在地]：大阪府豊能郡能勢町宿野30

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

2月24日（土）・14：00・426人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

2月4日（月）・10：25～11：10・25人

11：15～12：00・27人

（能勢小学校5年生対象）

[入場料金]

一般 2,000円、高校生以下 1,000円（当日同料金）

### ■この事業への参加理由

劇団「南河内万歳一座」座長 内藤裕敬氏の演出による芝居で、“内藤ワールド”と呼ばれる舞台を作り上げていく過程を通して、制作スタッフの“もの創り”の能力向上を目指すとともに、当ホールで上演の機会の少ない『演劇』と、町の伝統芸能“浄瑠璃”と同じ噺芸で馴染みある上方『落語』という異なる二つの文化・芸術が融合したこの作品を地域住民に提供することで、様々な芸能への関心を高め、鑑賞者の育成、増加に繋げることを目的とした。

また、他公共ホールスタッフと連携・交流をし、互いのノウハウを共有しながら事業を進めていく中で、職員の意識・能力向上を図り、且つ、ホール同士の協力体制を築き、今後の事業展開にも繋がることを期待し参加した。

### ■この事業全体を振り返って

地域交流プログラムは、町内唯一の小学校である能勢小学校の協力のもと、5年生を対象として落語ワークショップを実施。芸術鑑賞や総合学習等で町の芸能 浄瑠璃に触れる機会の多い児童に、浄瑠璃とは異なる噺芸の『落語』を体験してもらうことで、伝統芸能の多様性、日本語の魅力等を感じてもらうことができた。

公演は、落語・演劇ファンのほか、能勢町高齢者クラブ連絡協議会との共催と位置づけたことで、町内高齢者の来場が多く、また、地域交流プログラムに参加した児童の来場も見受けられる等、幅広い年齢層、演劇や落語を観賞する機会の少ない方にも鑑賞していただくことができ、来場者の文化・芸術に対する視野を広げられたのではないかと考える。

### ■今後の事業展開

現在、当ホールは町の伝統芸能“浄瑠璃”で創造活動を展開しているが、本事業を通じて繋がりを持った他公共ホール・地域住民と共に、現代演劇という切り口から新たな舞台創造活動の展開を模索し、メディアの進化により多くの情報に触れられる現代社会の中、生の舞台を観ることやワークショップ等で直接体感することでしか得られない面白さや楽しさを伝えていけるような取り組みを行っていきたい。

### 【演劇ワークショップ】 開催地：富田林、能代、茅ヶ崎

#### 演出家・内藤裕敬による演劇ワークショップ

演劇ワークショップでは、各地の参加者の年齢層や参加目的に応じて、本格的な演劇ワークショッププログラムから「面白い演劇ってどんなもの？」かを参加者と一緒に考えるプログラムまでと様々な形で開催されました。

共通して、自分の外の世界を意識し、想像力を最大限に生かすことで、見えないものが見えるように表現することができるという内藤裕敬さんの表現すること、伝えることの考えを学ぶことができました。

### 【落語ワークショップ】 開催地：上田、高知、豊岡、能勢

#### 上方落語家・桂九雀による落語ワークショップ

公演の本番前日に開かれた落語ワークショップでは、10分程度の落語噺を参加人数分に分割して、リレー形式で読んでいくプログラムを進めました。桂九雀さんから、声の出し方や感情の伝え方などの指導を受け、翌日の公演中にリレー落語を披露するという体験ができました。

小学校アウトリーチでは、クラス全員でリレー落語を行い、普段あまり経験することのない落語（話芸）の難しさを体験することができました。

今回、私の演劇ワークショップと九雀師匠の落語ワークショップの二本立てとなったわけですが、落語のプログラムに強く可能性を感じました。各地域で落語の会があり、そのメンバーが、上方落語の師匠からの指導に、とても興味を持っておられ熱心でした。老若男女を問わず、落語に親しむという共通の好奇心を持った方々が全国各地に居ることを思えば、この活動に大きな発展性があると思われれます。

また、ワークショップ参加者が、次の日の本番の舞台上、高座に上がり落語を披露する試みも、客席の動員や盛り上がり大きく反映し、公演の成功の大きな要素になりました。

(内藤裕敬)

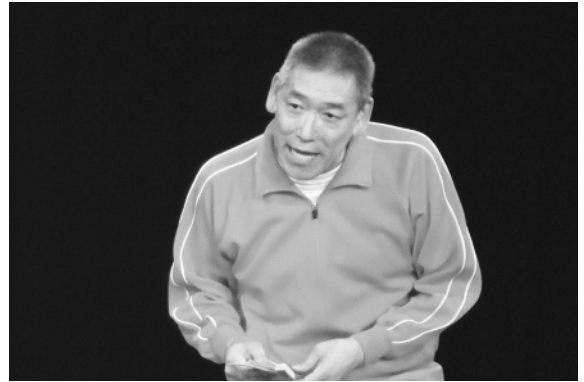
落語には、一人芸であるが故の難しさがあります。何役も演じ分ける＝演劇的要素。「ボケ」と「突っ込み」の両方をやる＝漫才的要素。ストーリーを進める＝語り部的要素。これら三つをソツなくできることは、楽器に例えると「楽譜通りの音を出せる」という、極めて基本的な技術です。これがないと落語にならない。そう。落語は、まずは科学なのです。

一方、落語のネタは、過去の演じ手たちの工夫が詰まっていて、どれも面白くてきている、音楽で言えば、名曲ぞろいです。なので、上の三つの技術を使って、演奏すれば、聞き手を満足させられます。ですから、アマチュアでも、プロでも、大人でも、子どもでも、まずは、作品を伝えるための技術を伝えることにしています。

今回も、そこに重点を置きました。落語は、まずは科学。最後は体力。そして、間が人柄。実は、ここが一番難しい。

(桂九雀)

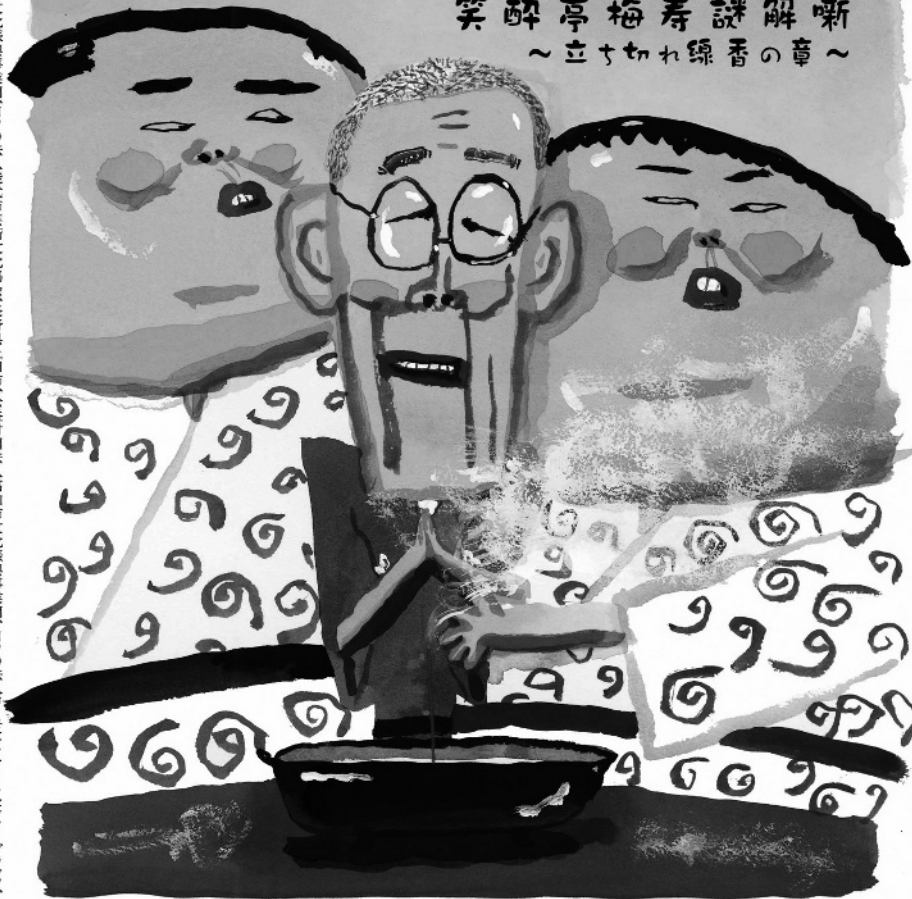




平成30年度公共ホール演劇ネットワーク事業

桂九雀で田中啓文、  
ことまろうに内藤裕敬。

笑酔亭梅寿謎解嘶  
～立ち切れ線香の章～



田中啓文著『笑酔亭梅寿謎解嘶』（集英社文庫）を桂九雀が！ 脚本・演出は南河内万歳一座の内藤裕敬。  
朗読？ 語り？ 芝居？ 落語？ どんなものが出来上がるのか？

【主催】公益財団法人富田林市文化振興委員会、NPO法人能代市芸術文化協会、長野県上田市公益財団法人高知市文化振興事業団、NPO法人コミュニティシアターアップリンク、  
公益財団法人茅ヶ崎市文化スポーツ振興財団、大阪府能勢町「助成」一般社団法人全国モーターポート競走施行者協議会、一般財団法人地域創造「公共ホール演劇ネットワーク事業」  
【協力】南河内万歳一座株式会社オンザラン「舞台監督 照明」皿袋蔵路「イラスト」長谷川義史  
公共ホール演劇ネットワーク事業は、地方自治体が開催するモーターポート競走の収益金を活用して実施しています。

公演スケジュール

平成30年	9月22日	⊕ 14:00開演	大阪府富田林市	すばるホール	☎0721-25-0222
平成30年	9月30日	⊖ 14:00開演	秋田県能代市	能代市文化会館	☎0185-54-8141
平成30年	10月13日	⊕ 14:00開演	長野県上田市	サントミュージゼ	☎0268-27-2000
平成30年	10月21日	⊖ 14:00開演	高知県高知市	高知市文化プラザかるぽーと	☎088-883-5071
平成31年	2月10日	⊖ 13:30開演	兵庫県豊岡市	豊岡市民プラザ	☎0796-24-3000
平成31年	2月16日	⊕ 14:00開演	神奈川県茅ヶ崎市	茅ヶ崎市民文化会館	☎0467-85-1123
平成31年	2月24日	⊖ 14:00開演	大阪府能勢町	浄るりシアター	☎072-734-3241



平成 30 年度公共ホール演劇ネットワーク事業報告書

編集・発行／一般財団法人地域創造

発行日／平成 31 年 3 月